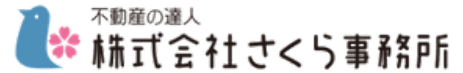


報道関係者各位

命を守るために必要な夏の地震防災の優先順位
令和8年熊本地震・緊急現地調査レポートを公開

このたびの令和8年熊本地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う「不動産の達人」株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／代表取締役社長：山本直彌）の地盤・防災コンサルタントである横山芳春は、7月28日に発生した令和8年熊本地震（M7.1）の発生を受けて、翌7月29日、30日に緊急現地調査を実施いたしました。その被害実態の報告と、現地調査からみえた防災上の提言をまとめたコラム「令和8年熊本地震・緊急現地調査からの提言 | 繰り返す震度7に私たちはどう備えるべきか」を公開いたしました。

令和8年熊本地震の被害実態と「立地リスク」の顕在化

熊本市から八代市の調査において、①活断層近傍における被害、②地震の揺れによる建物被害、③液状化による被害が認められました。

①活断層近傍における被害：震源断層である日奈久断層帯の活動による地震で、断層のずれが地表まで到達して地表にずれが生じた「地表地震断層」とみられる亀裂がみられ、その近傍では家屋や宅地の擁壁、護岸、田畑から橋などの構造物が甚大な被害が見受けられました。熊本市南区から八代市北部ではあらかじめ断層があると想定される位置か、そのすぐ近傍で地割れが生じていました。

②地震の揺れによる家屋被害：調査した範囲では、氷川町鹿島付近から八代市鏡町において複数の倒壊家屋が集中して見られました。築年数の古い家屋も目立つ地域でしたが、それだけではなく地盤の揺れやすさや地盤と家屋の共振などによる影響も考えられます。

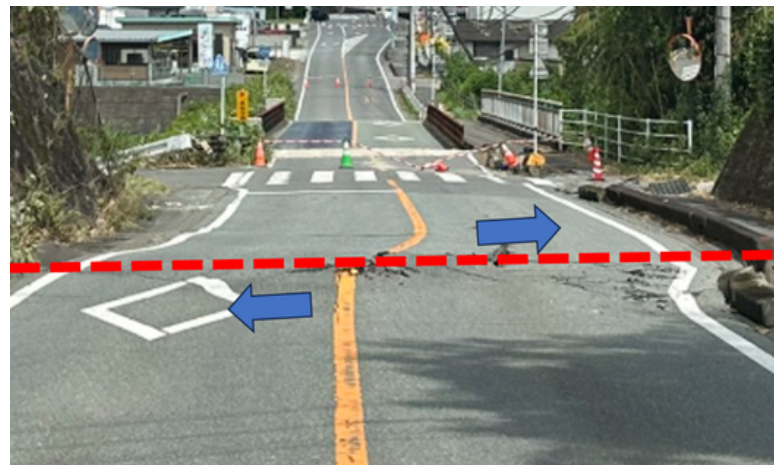
③液状化による被害：熊本市南区から八代市では、地盤の液状化による砂の噴出や道路の地割れなどが確認できました。大規模な砂の噴出跡（噴砂）や、液状化によるとみられる地割れ、地盤の陥没、建物基礎部分の地盤沈下がみられました。

熊本地震・防災上の課題と留意点

令和8年熊本地震の被害状況から、私たちが今後直視すべき深刻な防災上の「課題」があります。一つは、日奈久断層帯の未活動区間（割れ残り）における巨大地震の再来リスクです。いつまた同規模の揺れや、海底を震源とする津波が起きてもおかしくありません。二つ目は、猛暑下での過酷な避難生活（車中泊など）による、熱中症やエコノミークラス症候群といった「災害関連死」への警戒です。停電や断水が続く中での避難生活は命を削ります。

地震と猛暑の複合的な危機に対し、私たちは防災の「優先順位」を正しく認識して備える必要があります。水や食料、トイレの備蓄以上に大前提となるのが、「①建物を倒壊させない（活断層や液状化など立地リスクの把握・耐震化・定期的なメンテナンス）」と「②室内で怪我をしない（家具の固定やガラスの飛散防止）」ことです。

まずはこの2点を徹底して「死なない空間」を作り、安全な自宅での「在宅避難」できる状態しておくことこそが、家族の命を守る最善の策となります。さらに、在宅避難できる人が増えれば、真に避難所を必要としている方へスペースを譲ることに繋がり、地域全体の防災力向上にも貢献します。



日奈久断層の活動で生じた地表地震断層とみられる地割れ
（宇城市豊野町山崎 2026年7月29日・横山芳春撮影、加筆）

コラム：令和8年熊本地震・緊急現地調査からの提言 | 繰り返す震度7に私たちはどう備えるべきか

<https://www.sakurajimusyo.com/opinion/disaster/2725/>

疑問・質問がある方はお気軽にお問合せください。専門家が取材に対応させていただきます。

お急ぎの場合でも対応できる場合があります。現地調査を実施した専門家からのコメント、現地活断層、液状化など写真、動画提供可能。

さくら事務所について

株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／代表取締役社長：山本直彌）は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、79,000組を超える実績を持っています。

株式会社さくら事務所

広報室：堤



東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101



press@sakurajimusyo.com



03-6455-0726



FAX 03-6455-0022



<https://www.sakurajimusyo.com/>